

師走(December)の校長 令和4年度第2学期終業式校長訓話 (R4.12.23)

令和4年度第2学期の終業式は、寒波と感染症対策のため、ICT教室より各教室へオンライン配信で実施しました。

動物園の動物は、食べる不安もなく、他の動物から危害を加えられる心配もありません。決まった時間に、色々と栄養ある食べ物を与えられ、保護されたオリの中でゆったりと寝そべったり、欠伸をしたりと自由に過ごしています。しかし、それで彼らは喜んでいるのでしょうか？決して動物園を否定しているわけではありません。動物達の心まではわかりませんが、それでも彼らが、身の危険にさらされながらも、果てしない原野を駆け巡っている時の幸せを、時に心に浮かべているような気がします。

互いに一切の不安もなく、危険もなければ心配もなく、したがって苦心する必要もなければ努力する必要もない、そんな境遇にあこがれることは誰にでもあります。しかし、果たしてその境遇から力強い生き甲斐は生まれるのでしょうか？人生には、困難なこと、難儀なこと、苦しいこと、辛いこと、怠けたくなること、あきらめたくなること、逃げたくなることなど、いろいろとあります。程度に差こそあれ、誰にでもあります。決して自分だけではなく、皆です。そんなときに、どう考えるか、どう処置するか、それによって、その人の幸不幸、飛躍するか後退するか、伸びるか伸びないかが決まるのです。

不安な岐路に立ちつつも、その原因も責任も他に転嫁するのではなく、自己コントロールを心がけていくことを大切にしてもらいたい！

この2学期、特に気になったのが、君達の家学習の時間です。

日々コツコツと努力を積み重ねている人もたくさんいることは解っています。

しかしながら、生活時間調査集計や保護者アンケートの心配されているコメントを見ても、全体的に家庭学習時間は、例年を下回っており、SNS等を含めたメディアの時間の多さに驚いています。

本校の合い言葉は『伸びる伸ばす』です。特に部活動に生徒会活動等に忙しいはずの1, 2年生は、充実した文武両道を実現しようと思えば、また進路目標を実現しようと思えば、見直すべき所が多々あるのではないのでしょうか。自分の弱さや甘さに負けずに自己コントロールをしていかないと、伸びるものも伸びません。

コロナ感染症が広がってから、ほぼ3年が立ちます。

現在も、再び全国の感染者が増えており、この冬休みから第3学期に向けても、日々の健康管理、自己管理に留意し、責任ある行動を心がけていく必要があります。ただ現在は、2, 3年前とは違って様々な面で、ウィズコロナでの対応に少しずつ変わりつつあります。

特に、体調面では3年間「無理をしないように」と言われ続けてきました。しかし、その「無理をしないように」が、コロナ感染症関係以外の事にも影響していると感じています。好きな部活動や、ゲームやSNSなど楽しいことのためなら時間をかけて多少の無理はできるけど、困難なこと、苦しいことには簡単に無理といって諦めてしまう。自分でも本当は、踏ん張って頑張るべきだとわかっているのに・・・

困難を困難とせず、思いを新たに、決意を固く歩めば、困難なことが、かえって飛躍の土台となります。要は考え方です。決意なんです！君達にも教職員の皆さんにも「自己の可能性に線をひかずチャレンジしていこう」と今まで様々な機会に、何度も話してきました。

『簡単に、無理って言って、ごまかさないでほしい！』

『簡単に、無理って言って、乗り越える努力もせずに諦めないでください！』

『今は、無理してでも踏ん張るべき時かどうか判断できる益高生であってほしい！』

『簡単に、無理って言うな！』

さあ、冬休みを迎えます。補習や部活動は続きますが、今述べたことも含め、令和4年の自分の姿をしっかり振り返り、新たな年2023年、令和5年に向けて、新年の決意をしてもらいたいと思います。

最後になりましたが、今まさに自分を高め、成長し続けている3年生諸君、本当によく努力し、頑張っていますね。大学共通テストまであと3週間となりました。体調には十分に気をつけて最後まで粘り、やりきってください。応援しています！ 以上、皆さん、良いお年をお迎えください！